

(4) 動物、植物、生態系

① 石神井公園など周辺地域における動植物などの生態系への影響についての懸念

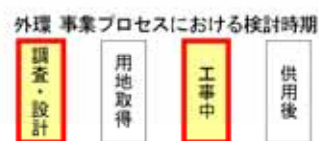
○これまでに頂いた意見

- 利便性だけでなく他の生物にも配慮する新しい道路計画を考えてほしい。

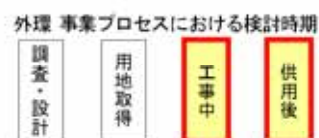
(国)

- 石神井公園周辺においては、計画路線は、地下40m以深のトンネル構造区間であり、地下水解析の結果より、池などの水への影響はほとんどないと考えております。また、工事の実施による地形及び地質に関する改変はありません。よって、動植物の生息・生育環境は保全されると考えています。

- なお、環境施設帯等の緑化等にあたっては、動物・植物の生息・生育環境に十分に配慮し、検討します。



- 現段階で予測し得なかった著しい影響が見られる場合には、迅速な情報提供を行うとともに、環境に及ぼす影響について調査し、練馬区など関係機関と調整し、必要な対策を検討、実施します。



(5) 緑の量

① ジャンクション周辺において緑が整備されることへの期待

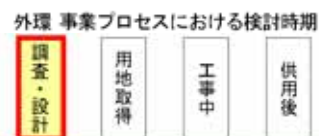
○これまでに頂いた意見

- ジャンクションに緑を増やすよう最大限考慮して欲しい。
- 環境施設帯を有効利用し緑を増やすことが期待される。

(国)

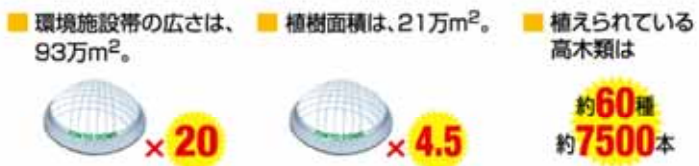
- 大泉ジャンクション周辺の緑の量の回復にあたっては、練馬区の緑化計画等に基づき、道路の存在によって失われる緑の量と同程度以上の緑の回復を図ります。

- 環境施設帯等の緑化については、設計段階において、練馬区など関係機関と調整の上、地域のみなさまの意見を聴きながら、既存の樹木にあった植生など地域の自然環境との調和を十分考慮した検討を実施するとともに、人と自然の触れ合い活動の場を創出することを検討します。



参考:外環(埼玉区間)における環境施設帯の整備事例

外環の埼玉区間において、環境施設帯を利用して緑化を行った事例です。



資料:一般国道298号東京外かく環状道路(H19. 4 北首都国道事務所)

参考:名神高速道路 八日市インターチェンジにおける整備事例

名神高速道路 八日市インターチェンジにおいて、インターチェンジ内を緑化し緑の回復を図った事例です。



資料:NEXCO 中日本

(6) 景観

- ① 換気所やジャンクション構造物が地域の景観と調和がとれるのかとの懸念  
 ② 換気所などの構造物が周辺景観に配慮したものとなることへの期待

○これまでに頂いた意見

- 日常生活で外環の構造物が目に入る視点場からの景観については、特に配慮した景観デザインとして欲しい。
- 防音壁の色調や素材、形状の工夫を望む。

(国)

➤ 大泉ジャンクション周辺の構造物等の設計においては、現在、練馬区が策定中の「景観計画」等を踏まえ、地域と景観的に調和するよう配慮します。

外環 事業プロセスにおける検討時期



➤ 環境施設帯等の植栽計画の策定にあたっては、「練馬区みどりを愛し守りはぐくむ条例」等に配慮し、地域のみなさまの意見を聴きながら練馬区とともに、計画します。

外環 事業プロセスにおける検討時期



➤ 構造物等の形式、デザイン、色彩等の検討において、地域の景観に配慮した設計を行います。また、供用後には、緑化による周辺景観との調和について確認します。

外環 事業プロセスにおける検討時期



参考: 景観に配慮した事例

◆ 景観に配慮した事例(橋梁)



東名高速  
横浜青葉インターチェンジ

◆ 景観に配慮した事例(換気所)



国道 20 号  
新宿御苑換気所



圏央道  
青梅トンネル換気所緑地



首都高速中央環状新宿線  
要町換気所  
資料: 首都高速道路  
ホームページ

## (7) 八の釜憩いの森

- ① 八の釜憩いの森の湧水が消失することへの懸念
- ② 八の釜憩いの森の緑、動植物への影響、憩いの場が消失することへの懸念
- ③ 八の釜憩いの森の湧水について詳細な調査が不足しているのではないかと懸念
- ④ 八の釜憩いの森の代償措置についての懸念

## ○これまでに頂いた意見

- 地域にとって大切な八の釜の森をできるだけ避けて、貴重な資源を残してほしい。
- 八の釜付近の環境施設帯に、現在の八の釜と同じような規模の樹林地が整備されることを期待する。
- 外環計画は受け入れざるを得ないが、八の釜は大切なものであり、湧水を枯らさないための最善の努力や工夫をしながらの工事を期待する。

## (国)

- 八の釜憩いの森については、計画路線が既に供用されている関越自動車道及び東京外環自動車道に接続し、車両が安全に通行できる道路構造とするために、消失が不可避であることから、環境保全措置を実施します。
- 環境保全措置の検討にあたっては、地域のみなさまの声を聴くとともに、練馬区及び八の釜憩いの森、文化財等の所有者、管理者と協議の上、地域の特长や現在の自然環境を十分考慮しながら進めます。やむを得ず改変が必要となる緑地等については、失われる緑の量と同程度以上の緑の回復を図るとともに、可能な限り現在の樹木等を移植等により残すことを検討します。また、緑とふれ合え、地域の人が交流できる憩いの場となるよう配慮します。
- 八の釜の湧き水の環境保全措置については、武蔵野礫層からの取水が可能であり、環境施設帯等十分なスペースの確保が可能なこと等から、水源の確保による水辺環境の整備並びに動物・植物の生息・生育環境の整備が実施可能と考えており、地下水や地質の状況などの詳細な調査を実施しながら、検討を進めてまいります。
- これまでに、湧水地の近傍でボーリング調査及び観測井を設置しており、今後は、観測井を用いた地下水のモニタリング等の詳細な調査を行い、八の釜の湧き水のしくみを解明し、より具体的な検討を行っていく予定です。
- 環境保全措置の実施にあたっては、新たな環境影響が生じないよう、適切な措置を講じるよう努めるとともに、できる限り早期に機能の代償を図ります。
- 現段階で予測し得なかった環境上の著しい影響が生じた場合は、関係機関と協議し、必要に応じて有識者等の意見及び指導を得ながら適切な措置を講じます。

▶ カワモヅクについては生育環境の代償及び重要な種の個体保存を実施するため、詳細な調査を行います。また、消失する生育環境の代償空間について環境保全措置の効果を検証するために、生育状況の確認等の事後調査を実施します。

▶ 詳細な検討や工事の施工方法など各段階で、引き続きPIの手法を取り入れ、地域のみなさまの意見を聴くとともに、必要に応じて有識者の意見も聴きながら、具体的な検討を実施していきます。

外環 事業プロセスにおける検討時期

調査・設計	用地取得	工事中	供用後
-------	------	-----	-----

外環 事業プロセスにおける検討時期

調査・設計	用地取得	工事中	供用後
-------	------	-----	-----

参考: 自然に配慮した整備事例

○八の釜の現況



八の釜憩いの森



八の釜の湧水

○東名高速大井松田インターチェンジ

東名高速道路大井松田インターチェンジにおいてビオトープを創出した事例です。

東名高速道路大井松田インターチェンジのビオトープ創出事例

ビオトープ整備位置(インターチェンジ内)



整備イメージ断面図



整備した池の全景



○横浜横須賀道路 釜利谷ジャンクション

横浜横須賀道路の釜利谷ジャンクションの盛土法面下にビオトープを創出した事例です。



盛土法面下に、動物や植物が生息・生育する空間「ビオトープ」として、自然な状態を創出した例です。

資料: NEXCO 東日本

(8) 環境一般

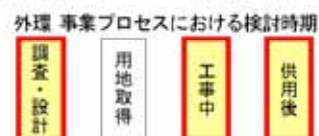
① PM2.5など現在の環境基準で定められていない項目についての懸念

○これまでに頂いた意見

- PM2.5を取り除く方法を検討してほしい。住民の健康を守って欲しい。

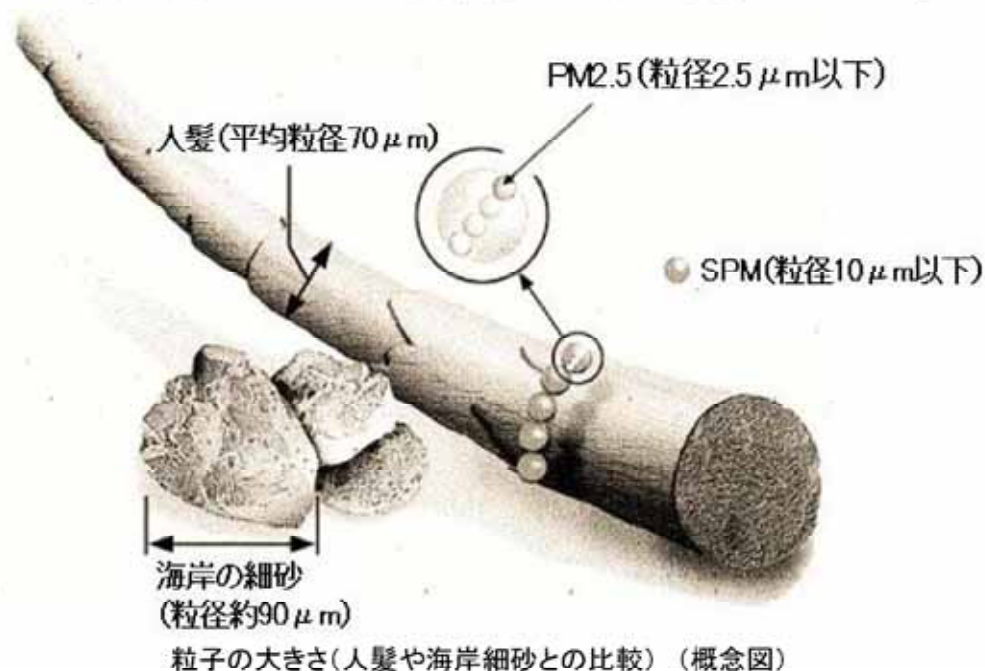
(国)

➢ PM2.5については、環境省が設置した「微小粒子状物質リスク評価手法専門委員会」及び「微小粒子状物質健康影響評価検討会」において検討されており、環境基準の設定については、今後検討が進められる予定と聞いています。環境省における今後の検討状況を見極めつつ、対応方法等について検討を進めていきます。



参考:PM2.5とは

PM2.5とは、大気中に漂う浮遊粒子のうち粒径 $2.5\mu\text{m}$ 以下の小さなものをいいます。粒径が小さいため、肺の奥まで入りやすく健康影響の可能性が懸念されています。



資料:環境省ホームページ



② コストを優先して環境対策が軽視されるのではないかの懸念

○これまでに頂いた意見

- 大泉の粉じんの集中が懸念されるなか、コスト重視で処理方法を決定するのではないかという懸念がある。

(国)

- 事業の実施にあたっては、周辺環境への影響を可能な限り軽減するため必要な環境保全対策を講じるとともに、事業実施段階における調査を反映した設計・施工を行うことにより、周辺環境に著しい影響を及ぼさないよう十分に配慮します。

外環 事業プロセスにおける検討時期



- 環境保全対策の実施にあたっては、技術開発の動向等を踏まえ、事業者の実行可能な範囲内で必要に応じ、最新技術の適用について検討します。

外環 事業プロセスにおける検討時期



③ 道路照明による周辺環境への影響についての懸念

○これまでに頂いた意見

- 夜の街路灯の明かりによる周辺環境への影響が懸念されるので、夜間の明るさにおける周辺環境への配慮を望む。

(国)

- 道路照明灯については適正配置とともに地域に影響を与えるおそれがある場合は、光漏れを低減する構造について検討します。

外環 事業プロセスにおける検討時期



④ 環境に影響が生じた場合への対応についての懸念

○これまでに頂いた意見

- 開通後に事前に予測出来なかった問題が生じた場合の対応を事前に検討する必要があるのではないか。

(国)

- 現段階で予測し得なかった環境上の著しい影響が生じた場合は、迅速な情報提供を行うとともに、環境に及ぼす影響について調査し、練馬区など関係機関と協議し、必要な対策を検討、実施します。

外環 事業プロセスにおける検討時期

